

2023 大阪ブロックフライボール競技会

開催日：2023年3月11日(土) [雨天決行]

会場：大阪府 泉大津フェニックス多目的緑地

開門時間：午前6時00分 [予定]

受付時間：午前7時00分～午前8時00分 [予定]

競技開始：午後12時00分 [予定]

審査員長 根本 梨枝

※開門・受付・競技開始時間は変更する事がありますので、ご了承ください。

※個人競技の出場順は、出陳目録掲載番号順を原則とします。

※出陳目録には、当該犬のデータの他に所有者名並び所在地(都道府県・市区)が掲載されます。

申込開始日：2023年2月6日(月)

申込締切日：2023年2月20日(月) **郵便必着**

※当日申込及びFAXでの受付は致しません。

※出陳料は必ず現金書留で郵送してください。

現金書留以外の方法で送付された場合、万が一事故等が発生しても一切の責任を負いかねます。

競技会事務所

〒563-0043 大阪府池田市神田3-3-4
よしもとドッグトレーニングスクール内
吉本英知 方 TEL 090-2061-4849

主催 大阪ブロック訓練士協議会

後援 一般社団法人ジャパンケネルクラブ/西日本ブロック訓練士協議会

参加上の注意事項

- ①開門時間前に門の前に並ぶ行為はおやめ下さい。
- ②車輛は指定された駐車位置に駐車して下さい。
- ③駐車スペースの場所取りは禁止とします。
- ④会場内でのテント・タープ等の設営は禁止です。
- ⑤駐車スペースを含む会場内は火気厳禁・完全禁煙です。
- ⑥リンク以外では必ず犬に紐を付けて通行して下さい。
- ⑦水道設備がございません。各自でご用意をお願いします。
- ⑧お弁当の配布はございません。
- ⑨ゴミ、糞便は各自お持ち帰り下さい。
- ⑩会場では必ず各係員の指示に従って下さい。
- ⑪悪天候や感染症の流行などのやむを得ない理由により競技会を中止する場合及び、締切前に申込みをキャンセルする場合は、事務手数料として出陳料より1頭につき1,000円を申し受け、残金を返金いたしますのでご了承ください。

■感染予防対策にご協力ください■

- ・駐車場入場時に体温測定を行います。37.5度以上の発熱がある場合は入場いただくことができません。
- ・マスクの着用・咳エチケットの励行をお願いします。ただしご自身の競技中はマスクを外していただいて構いません。
- ・その他、各自基本的な感染予防対策を実施してください。

実施要領

1 出陳等

(1)出陳犬の資格

	本会登録犬(アベンディクス登録犬を含む) 本会の非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬
チーム競技 ダブルス競技 個人競技	2022年3月10日及びそれ以前の生まれ (生後12カ月1日以上)

※アベンディクス登録犬及び非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬はフライボールチャンピオン資格犬にはなりませんので、フライボールチャンピオン(FB.CH.)ポイントカードは付与されません。

- (2)伝染病・皮膚病など健康上の危惧がある犬、跛行の犬、咬癖のある犬は出陳することはできません。
- (3)発情した犬は、個人競技に限って出陳することができますが、当該カテゴリーの最後に競技することとします。
- (4)出陳犬の首輪は競技中に危険が及ばないことを原則とし、緩んだ状態が維持できる平首輪(フラット・カラー)または胴輪(ハーネス)とします。
- (5)チーム及びダブルスの代表者は、本会のクラブ会員とします。
- (6)ハンドラーは、本会のクラブ会員並びにその家族とします。

2 競技種目と出陳料金

(チーム競技)

1チームは4名のハンドラーと4頭の犬とし、予備の犬を1頭以上用意して下さい。

(ダブルス競技)

1チームは2名のハンドラーと2頭の犬とし、補欠犬を1頭以上、補欠のハンドラーを1名以上用意することができる。

(個人競技)

- ①1名のハンドラーと1頭の犬とします。
- ②出陳犬の体高により次の3つのカテゴリーに分割します。
 - スモール(体高35cm未満の犬)
 - ミディアム(体高35cm以上43cm未満の犬)
 - ラージ(体高43cm以上の犬)

チーム競技	1チームに付	8,000円
ダブルス競技	1チームに付	6,000円
個人競技	1頭に付	5,000円

3 重複出陳

出陳犬は、チーム競技、ダブルス競技及び個人競技のいずれの組み合わせでも重複出陳することができます。

4 申込方法

所定の出陳申込書に必要事項を記入し、出陳料を添え締切日までに大会事務所必着となるように申込み下さい。

5 競技用具

- (1)原則として、本会指定の用具とします。ボールの飛行曲線が、ボックス上部のソフトカバーに触れることのないように調整して下さい。
- (2)ボールは原則として、空気の抜けていない正規のテニスボールとします。ただし、犬のサイズを考慮し、危険性のない弾むボールで審査員長が認めた場合は使用することができます。

実施要領

- (3)ハードルの高さは、スモール20cm、ミディアム30cm、ラージ40cmとなります。
(4)チーム及びダブルス競技において、ハードルの高さは当該チームの中で最も体高の低い犬のカテゴリーの高さとしします。

6 ボックスローダー・ヘルパー

(ボックスローダー)

- ①チーム競技並びに個人競技ともボックスローダーは、原則として当該チーム及び当該出陳者が用意して下さい。
- ②ボックスローダーは、ボックスの後ろに位置し、ボックス後部板の末端に両足を載せている、もしくは触れている状態で直立し、ボックスにボールをセットする時及び転がったボールを回収する時を除き、手を後ろに組んでいなければなりません。
- ③ボックスローダーは、声援により犬を勇気づけることができます。
- ④ボックスローダーは、審査員によりそのヒートが終了したことが宣言されるまで、所定の位置を離れてはなりません。

(ヘルパー)

チーム競技においては、ボールの回収及びハードルの設置を行うヘルパーを用意することができます。

7 競技

競技は2レーンで2チーム(頭)が行います。

(チーム・ダブルス)

- ①2チーム以上の出陳申込みがあった場合に行われます。
- ②参加チーム数が3チーム以下の場合は、リーグ戦(総当り)とし、4チーム以上の場合は、トーナメント戦(勝ち上がり)とします。
- ③組み合わせは抽選とします。
- ④トーナメント戦において、3席は決定戦によって決定します。
- ⑤ヒートを3回行い、2回勝ったチームが当該競技の勝利チームとなります。
- ⑥リーグ戦で勝敗が同率の場合は、ヒート勝率によって決定します。ヒート勝率も同率の場合は、ヒートのベストタイムによって決定します。
- ⑦1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

(個人)

- ①8頭以上の出陳申込みがあった場合に行われます。
- ②全てヒートを3回行い、そのうち最も速いタイムを当該犬のベストタイムとします。
- ③スモール・ミディアム・ラージの各カテゴリーにおいて、ベストタイムの順によって席次を決定します。
- ④ベストタイムが同タイムの場合は、犬の年齢が若い方を上位とします。
- ⑤1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

8 ヒート

(チーム・ダブルス)

- ①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- ②スタートの合図の前に犬の身体の一部がスタート・フィニッシュライン(2本のスタートフィニッシュポールを結ぶ架空の線)を越えた場合は、再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合、当該犬はフライングとなります。
- ③犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができます。
- ④犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを啜えたまま4つのハードルを跳び越え、戻ってくるものとします。
- ⑤走行中の犬の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを越えた時、次の犬がスタートすることができます。万一、これに違反した場合、当該犬はフライングとなります。
- ⑥走行中の犬が、ハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して跳び越えていれば失敗とはなりません。ただし、メンバー及びヘルパーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。
- ⑦チーム競技においては4頭目の犬(または、再度走らなければならなかった犬)、ダブルス競技においては2頭目の犬(または、再度走らなければならなかった犬)の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを先に通過したチームが、そのヒートの勝者となります。
- ⑧ヒートの終了は、チーム競技においては4頭目の犬(または、再度走らなければならなかった犬)、ダブルス競技においては2頭目の犬(または、再度走らなければならなかった犬)がフィニッシュした時とします。

(個人)

- ①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- ②スタートの合図の前に犬の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを越えた場合は、再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合、当該ヒートは無効と判断されます。
- ③犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができます。
- ④犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを啜えたまま4つのハードルを跳び越え、戻ってくるものとします。
- ⑤走行中の犬がハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮

定して跳び越えていれば失敗とはなりません。ただし、ヘルパーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。

- ⑥犬の身体の一部が、スタート・フィニッシュラインを通過した場合にゴールとします。
- ⑦妨害により、当該ヒートのタイム計測ができなかった場合は、再度当該ヒート及び残りのヒートをダミー犬と行うこととします。

9 違反

チーム・ダブルス競技において、出陳犬が次のいずれかに該当した場合、当該犬はチームの最後尾で再度走らなければなりません。個人競技の場合、そのヒートは無効となります。

- ①出陳犬がフライングと判断された場合。
- ②出陳犬がいずれかのハードルを跳び越えなかった場合。
- ③出陳犬がボックスのペダルを踏まなかった場合。
- ④出陳犬がボールを啜えずにフィニッシュラインを通過した場合。
- ⑤ハンドラーの足がスタート・フィニッシュラインを越えた場合。ただしチーム競技においてハードルを立て直す場合又はボールを拾う場合は除きます。
- ⑥ハンドラー又はボックスローダーによるアシストがなされた場合。

10 ヒートの中止

競技中、メンバー又は出陳犬が次のいずれかに該当した場合、当該チーム又は当該犬のヒートは中止とします。

- ①出陳犬が競技に意欲を見せない場合。
- ②出陳犬がレーンに排泄した場合。
- ③出陳犬が逸走した場合。
- ④出陳犬又はチームのメンバーが、一方の出陳犬又はチームを妨害した場合。ただし、出陳犬がボールを追うことは妨害とみなされません。
- ⑤音の鳴るモチベーターを使った場合
- ⑥メインジャッジが中止と判断した場合。

11 失格

次のいずれかに該当した場合、当該チーム又は当該犬は失格となります。

- ①出陳犬又はチームのメンバーによる妨害が度重なった場合。
- ②リング内でおやつを使用した場合
- ③メインジャッジが失格と判断した場合。

12 規制

ハンドラーは次の行為を行ってはなりません。

- ①審査員に対する暴力行為及び暴言。
- ②出陳犬に対する暴力行為。
- ③審査中の関係者に対する抗議行為。

13 入賞

(特別表彰)

次の出陳犬に理事長賞を授与します。

- ①チーム競技の1席。
- ②個人競技の各カテゴリー1席犬の内から1頭。

(チーム・ダブルス)

1席～3席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

(個人)

スモール・ミディアム・ラージ各カテゴリー毎に1席～5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

14 フライボールチャンピオン (FB. CH) 登録制度

- (1)チーム競技で1席になったチーム4頭及びダブルス競技で1席になったチーム2頭(ただし、決勝競技において2ヒート勝利することが条件となります)にFB. CH. ポイント5 Pが付与されます。また、個人競技のスモール・ミディアム・ラージ各カテゴリーのベストタイムに2.0秒加えたタイム以内で完走した犬にFB. CH. ポイント3 Pが付与されます。

(チーム競技)

フライボール競技大会(本部主催・東・西日本ブロック訓練士協議会主催)7 P、ブロックフライボール競技会5 P、S T連合会フライボール競技会5 P、クラブフライボール競技会3 P

(個人競技)

フライボール競技大会(本部主催・東・西日本ブロック訓練士協議会主催)5 P、ブロックフライボール競技会3 P、S T連合会フライボール競技会3 P、クラブフライボール競技会3 P

- (2)フライボールチャンピオン (FB. CH) 資格の取得と登録

- ①FB. CH. Pを20ポイント以上取得した犬に与えられます。
- ②FB. CH取得に際しては、CD II以上(GD、IGP、BHを含む)の訓練試験資格の登録をしなければなりません。加えて、DNA登録も必要となります。

- (3)登録料は3,500円です。